

あなたも自治会長に～新しい出会い・発見がそこにある

「自治会長なんかになったら大変だ!」と思っている人に

京町西自治会長 亀井正明

自治会長の仕事は本当に大変なんだろうか、日頃から接している地区の人からよく言われる言葉です。そこで一年に**自治会長の仕事**としてはどのくらいの時間をさいているのかザックリ計算してみました。

①自治会長会議、年11回・約11時間。②回覧書類の分別と配布、年24回・12時間。③地区行事参加、4回・12時間。④土木要望現地視察、1回5時間。⑤その他地区内の雑務、2時間
ざっとこんなもんです、**合計42時間、分に直すと2.520分**です。

これを365日で割ると**1日7分～10分**ぐらいになるでしょう。一日の中で**たった10分**を割けば自治会長の仕事は出来るのです。タバコ2～3本吸う位の時間です。感覚だけで「大変だ～」と思ってもこんなもんです。私も「メンドクセー」と思うことは時々有りますが「大変だ」と感じたことは有りません。自治会長就任の依頼があったら恐れずに受けてください、**新しい出会いや発見があなたを待っています。**

ただ今、役員会議中



突然ですが、クイズです。

ここはどこでしょうか？
 <ヒント> ひらがな3文字
 「〇〇〇公園」



答えは裏面

自治会って??

何も知らないまま会長職を依頼され、気易く受けてしまって早〇年が過ぎました。ご多分に漏れず、当自治会も**世帯数の減少と高齢化**が進んでおり、**運営の難しさ**を痛感しています。

活動範囲は防犯灯の設置や維持管理等の**防犯活動**やゴミ集積場の管理に代表される**環境美化活動・福祉活動**、**活動内容は多種多様**で多岐に渡りますが、**任意団体としての自治会**には「こうしなければならぬ」という決まりはないと思っています。

地域に対する**親近感の希薄化**が進み、自治会に加入しなくても日常生活に困らないといった声を聞いたことがあります。「これまでやってきたことだから」といった理由だけで活動を続けていくだけでなく、これからの自治会は、今の**時代と住民の皆さんのニーズ**を捉え、応えていける機能を有するものへと**変化**していかなくてはならないと感じる今日この頃です。

新浜町西南自治会長 田中敏夫

東新町第3自治会 会長 阿部逸男

私の趣味は**読書**と船に乗って鳥羽・国崎・大王へ**釣り**に行くことです。冬は神島でのタイ、相差沖でヒラメがヒットします。相差の的矢湾はとても浅くて驚きました。水深は5mくらいしかありません。ちなみに伊勢湾は水深30m程で浅い方です。

読書は、月に2～3冊ほど読みます。最近読んだ本に『**天、共に在り**』（アフガニスタンで殺害された中村哲医師）の本です。中村哲は30年もの間、医師としてアフガニスタンにいて、井戸を掘り25kmもの用水路を拓きました。中村哲の言葉に『**「自由と権利がある」と錯覚している。我々人間は時として自然の摂理を無視している**』がある。また、こうも言っています。『**人生とは安全で確実なものではない**』

新浜町北中自治会の安田真人（やすだまさと）です。

会長をお引き受けして**6年目**になりました。この間、先輩自治会長を見習い、色々な事に取り組んできました。



災害対策としては自治会**全員のヘルメット配布**。安全対策としては**防犯外灯の増設（直近2年で11基）** コロナ対策として、マスク購入が困難な時に**全世帯に1箱（50枚入り）を配布**させていただきました。

今、頭を悩ませているのが**野良猫対策**です。保健所とも相談しながら個別に対応していますが、中々難しい状況です。今後の大きな課題かと思えます。

「地区の皆さんに一言」

滝川第二自治会 会長 皆川克久

コロナ騒動での2年間、未だに先の見通しが立たない現況。更には、地球規模での気候変動による**災害発生多数の状況**下、静かな生活環境を維持しにくい状況にあります。

一方、地区に目を移すと、滝川第二自治会は**90戸ほどの住民組織で、敬老対象者が38名**も居住する組織です。橋北地区全体が高齢者が多い地域ではありますが、何かの有事には大変な問題を抱えることとなります。

幸い、この地区は**伝統的な助け合い精神**が根付いており、防災の取り組みだけでも、小中学校の防災学習支援や地区防災訓練でも、連合自治会組織が先頭に立ち、民生委員・社協・PTA・市民防など**各種組織が一丸**となって地域活動を支えている現況を見るにつけ、**力強いもの**が伝わってきます。大変ですがよろしく願いいたします。

○滝川町第三自治会

会長 川村泰士（たいし）



年が変わると、数え年84歳。

年度が変わると、満83歳。自治会長（平成25年～）疲れしました。体力、知力、限界超えたか・・・。

○近鉄高架事業も完成し、駅周辺の道路及び駅西側広場もロータリー化され、バスの運行も実施されています。

○滝川公園も**防災機能を備えた公園、及び憩いの場所の公園**として整備されました。故に滝川公園の築山、花壇、藤棚など環境美化に留意し管理しています。

○住民の高齢化が進み、**避難行動要支援者が増加**しています。災害に応じた避難情報を認識し、**避難場所の選択が重要**です。

- ・避難情報 レベル1・2・3・4・5
- ・四日市市ハザードマップ（洪水・・・三滝川、海蔵川）
- ・四日市港津波避難マップ

○**自分の命は自分で守る**・・・緊急避難場所、指定避難所に限らず柔軟に避難対応できるように**隣同士で声を掛け合**いましょう。

川原町第一自治会長 青木克行

十数年前、デイサービスセンターの送迎運転手をしておりました。**心に残った経験**です。

肺がん末期で家族の方は少し離れた部屋にいて、迎えに行くと「お願いします」と言い部屋に戻ってしまいます。冷暖房完備、テレビ、リモコン付きの室内灯、最新設備の部屋に一人ぼっちで最新の介護ベッドに寝てみえました。

ある時、デイサービスセンターに向かう車内で体調が悪くなり、車を止めて一休みしてからセンターに着き、一日過ごされ自宅へ戻る車内で「運転手さん、今朝は迷惑をおかけしました。肺がん末期なのに酸素マスクを付けて何故デイサービスセンターへ来るのかと思ってみえますでしょう。自宅にいと家族は腫れ物に触らないように気遣う。何時お迎えが来るのか、明日か明後日か天井を見て死を考えてばかりいる。デイサービスセンターにいれば、皆さんの働く姿がある。声がある。笑い声、怒り声、歌声が聞こえる。死を忘れることができるだから無理をしても来たくなるのです。」